

金沢市立安江金箔工芸館

金沢市立安江金箔工芸館は、金沢駅西口の北安江にある、駅に一番近い博物館です。

当館の設立は今から34年前の昭和49年に遡ります。現在は金沢市立ですが、開館したときは私立の工芸館でした。館名にその名が残るように、金箔打ち立て師(金箔職人)であった安江孝明氏(1898~1997)が「金箔職人の誇りとその証」を後世に残したいとの思いで、金箔製造に用いられる道具一式と自らが集めた美術工芸品を無料で一般に公開したのが始まりです。奈良正倉院の校倉造りを模した外観の本館には、金箔製造道具の展示室、「箔移し」の実演室、茶室、美術工芸品の展示室が設置されています。昭和55年には別館を増築、同年、私立から財団法人による運営となり、昭和57年には登録博物館となりました。

金沢市立となったのは昭和60年。創立者の安江氏が米寿の記念に土地、建物、美術工芸品、製箔道具、製品見本および箔打ち機などを市へ寄贈され、今年で23年目を迎えます。

美術工芸品と製箔道具を合わせた当館収蔵品約500点のベースとなっているのは、安江氏のコレクションです。このコレクションは、金箔を豊富に用いた金屏風に四季花鳥を描いた絵画をはじめ、漆工芸、金工、彫刻、七宝やガラス、陶磁器、またこれらのジャンル以外のさまざまな金箔工芸品など、バラエティ豊かな作品から形成されています。金箔を用いた作品のみにこだわらず、地元金沢の作品から全国の著名作家の作品まで幅広い作品が収集されました。当館ではこれらの作品を中心とした展覧会を年に4回、四季展として開催しています。製箔道具に関しては本館1階展示室

にて常時公開しています。

1階展示室では、実際使われていた道具を見ながら、職員が来館者一人一人に金箔の製造工程についてご案内しています(製造工程のビデオ(約9分)もご希望の場合ご覧になることができます)。この時に、金箔についての質問を受けることもしばしば。実演室では金箔を所定の大きさに切る「箔移し」という作業を随時実演しています。ここでは鮮やかな手さばきで金箔を方形に仕上げている職人の妙技を見学しながら、金箔にまつわるさまざまな逸話を聞くことができます。金箔の博物館という大きな特徴をもつ当館ですが、来館者と職員の距離が近い点も特徴の一つかもしれません。

金箔に触れることのできる体験学習として年に数回、「摺箔体験コーナー」の名称で、摺箔の技法を応用した箔絵づくりコーナーを開設しています。「摺箔」とは金や銀の箔を布に貼って文様をあらわす技法。当館での体験はシルクスクリーンの型を用いて色紙と和紙はがきに絵柄の形に糊引きして、その上に金箔を押し、糊の乾燥後に余分の箔を落として絵を浮かび上がらせるものです。体験の準備作業である、和紙に金箔を油で接着させる「あかし」作業では、金箔の性質や扱い方も学びます(体験所要時間は1時間から1時間半程度)。この体験コーナー開催とほぼ同じ時期に、箔職人による「箔打ち実演」を公開しています。この実演では箔打ちと、箔打ちに付随する作業を見学することができます。



金沢市北安江1-5-10
 TEL/FAX 076(233)1502
 開館時間 午前9時30分～午後5時（受付は午後4時30分まで）
 休館日 展示替期間、年末年始
 入館料 一般300円 団体一般250円（20人～） 65才以上の方200円
 高校生以下無料（茶菓希望者は100円）
 交通 金沢駅西口から徒歩7分（無料駐車場あり）
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/bunho/kinpaku/>



「西王母」 せいおうぼ

二代山川孝次／明治／幅40.0、奥行20.4、高43.0(cm)

「西王母」は中国の女神の名。中国の西のかた崑崙山にある、不老不死のものたちの楽園を治めたといわれています。永世の身を与える仙人として信仰が広まり、三千年に一度実る仙桃には不老の効があると言われ伝えられました。

桃の枝、葉、実は銅製で、花、蕾、露玉は金製。実には金箔を貼り、葉脈には赤銅の細線を象嵌しています。露玉のついた葉の一枚一枚は異なった表情をもち、上昇する枝に沿って配置される様子は、溢れ出る生命力を表現しているかのようです。（2008年5月25日まで展示中）



「金銀象嵌熨斗押鶴」 きんぎんぞうがんのしおさえつる
 米沢弘安／昭和／幅10.7、奥行4.8、高6.3(cm)

正月などの慶事に台座に飾った熨斗を押さえるための器具が熨斗押です。本作品はうづくまる鶴の姿を写實的にあらわしたもので、頭部から頸部にかけての部分やふっくらと膨らんだ羽の一本一本に、細かい毛彫が施されています。色調は非常に落ち着いており、その中で額の模様の赤と金のコントラストが際立っています。折りたたんだ脚部は作品裏面に造形され、その脚の間に「弘安(花押)」と刻まれています。また箱の蓋裏にも墨書と朱文印が残されています。

【ご案内】

春季展「春を“きく”～花と鳥、香と舞～」

開催期間／5月25日(日)まで開催中

季節の情景をあらわした作品を中心に、香りや舞いに関連した美術工芸品を展示しています。

夏季展「ひとのすがた 描かれた人物たち」

開催期間／5月30日(金)～8月24日(日)

絵画や彫刻に表現された「ひと」の造形の多様性を美術工芸品にみる展覧会です。

「摺箔体験コーナー」

開催期間／5月上旬、11月初旬、2月上旬

受付時間／10：00～12：00、13：30～15：30

体験費用／800円

所要時間／1時間～1時間半程度

※10名以上で参加希望の場合は要予約

※開催日につきましては事前にお問合わせ下さい。